



打ち込みもはたして



打撃

接着

ガラス管密封タイプ 打ち込み型あと施工接着系アンカー

- ・打ち込みが軽い。
- ・L型、コの字型鉄筋等の埋設が可能。
- ・アンカー筋の先端斜めカットの必要がない。

樹脂入ガラス管

硬化剤

主剤にはスチレンを含まない高耐食性ビニルエステル樹脂を採用。  
 全サイズに、段付きガラスを採用し、外側ガラス管が確実に破碎され、また樹脂と硬化剤の混合が確実に行われるようにしました。



スチレンフリー

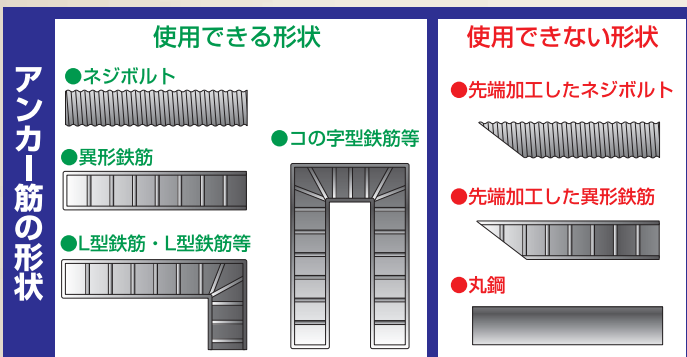
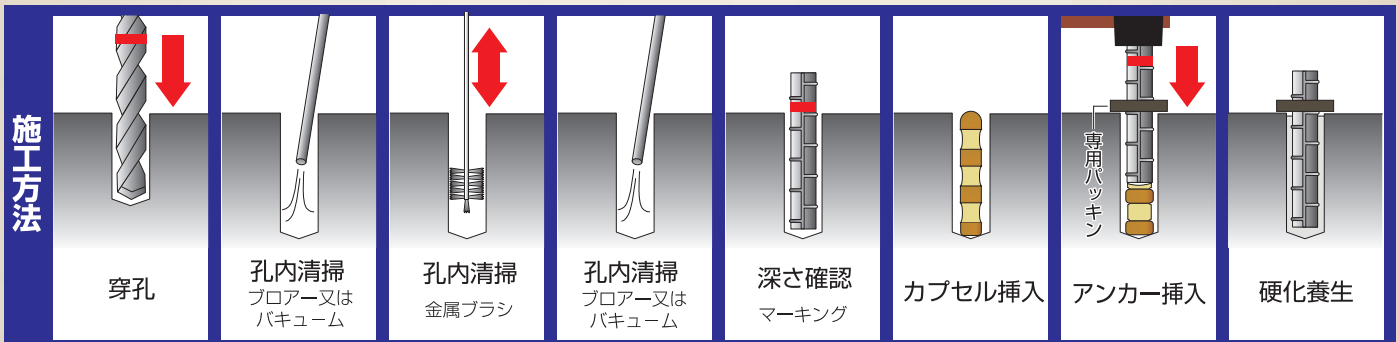
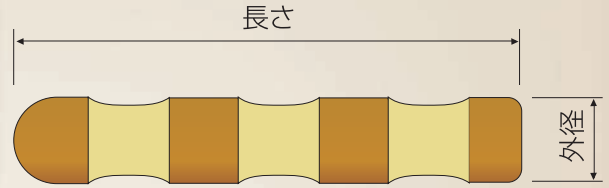
PERFIX SPIKE CAPSULE

パーフィクス<sup>®</sup> スパイクカプセル

ガラス管密封タイプ 打ち込み型あと施工接着系アンカー

# PERFIX SPIKE CAPSULE

パーフィクス® スパイクカプセル



品番	外径×長さ (mm)	容量 (cc)	アンカー筋		穿孔長 (mm)	引張強度 (kN)			小箱 (本)	大箱 (本)
			ドリル径 (mm)	径		最大	短期許容	長期許容		
SC-10	10.5 × 90	6	M10	12	90	40.7	11.9	7.9	20	400
			D10	12.5			11.9	7.9		
SC-12	13.0 × 110	11	M12	14.5	110	58.0	17.4	11.6	20	400
			D13	16			18.8	12.6		
SC-16	16.5 × 120	23	M16	19	140	119.7	29.6	19.7	20	200
			D16	20			29.6	19.7		
温度 (°C)			0		10		20		30	
硬化時間 (分)			180		60		30		15	

※最大引張強度は全ネジボルト仕様で金属ブラシを使用した場合の実験値です。(FC=21/mm<sup>2</sup>を使用)  
 ※許容引張強度は、全ネジボルトは材質SS400、異形鉄筋は材質SD295Aにて計算を行っております。  
 ※使用目的によって、より高い安全率を採用する等の判断を行って下さい。  
 ※必要に応じて孔内に挿入したアンカー筋を回転させて下さい。 ※アンカー筋の回転は速やかに行ってください。

製品改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

## 注意事項

- 樹脂が皮膚に付着した場合は、稀に炎症を起こすことがありますので、速やかに取り除き石鹸で洗浄して下さい。
- 万一樹脂が目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- 施工後の溢れた樹脂には破碎したガラス管が混入しています。除去する場合はケレン等を使用して行って下さい。
- 内容物の飛散を防ぐためにも必ず付属の専用パッキンをアンカー筋に取り付けて下さい。
- 上頂を防止するためにも必ず保護具・保護眼鏡等着用の上、施工を行って下さい。
- カプセルは冷暗所に保管して下さい。特にカプセルは高温場所、紫外線を嫌います。施工直前でも直射日光に当てないで下さい。また、真夏の車内に放置しないで下さい。
- カプセルを火気に近づけないで下さい。
- 孔内にカプセルを挿入する前に樹脂に流動性があるか確認して下さい。使用期限内でも樹脂の流動性がない場合は使用できません。
- 施工方法・施工仕様は必ず順守して下さい。守らないと、場合によっては性能が著しく低下することがあります。
- 全ネジボルトの場合、頭部のネジを痛めないよう、ナットを付けてから叩き込んで下さい。
- ガラス管に塗布した白い粉末は硬化剤です。剥がさないで下さい。
- 使用するコンクリートは、健全なものを使用して下さい。ひび割れ、ジャンカ等の影響により性能が低下することがありますので注意して下さい。
- 使用目的に応じて安全率を考慮して下さい。

**製造元**

あったらいいな。が、原動力。  
**エヌパット株式会社**

〒552-0022 大阪市港区海岸通4丁目4-10  
 TEL06-6576-5101 (代) FAX06-6576-5103

HP <http://www.n-pat.co.jp>  
 E-mail [info@n-pat.co.jp](mailto:info@n-pat.co.jp)

**販売店**